

平成 27 年 3 月 30 日
水管理・国土保全局

平成 26 年度 [第 2 回] 地域と連携した川づくりに係る計画の登録等について

国土交通省は、平成 27 年 3 月 30 日付けでかわまちづくり支援制度に係る計画について新たに登録及び変更、水辺の楽校プロジェクトの登録、河川防災ステーション整備計画について承認を行います。

国土交通省水管理・国土保全局では、地域の個性やニーズに対応した河川事業の一層の展開を図るため、地域との連携によりハードとソフトを一体的に整備するに当たり、その実現に向けて市区町村の役割が大きい計画について登録、変更及び承認を行っています。

今回、登録、変更及び承認を行う計画の概要については別紙のとおりです。

添付資料

別紙	登録、変更及び承認箇所一覧
参考	事業概要(かわまちづくり支援制度、水辺の楽校プロジェクト、河川防災ステーション)

問い合わせ先：

国土交通省水管理・国土保全局河川環境課

企画専門官 金縄 健一 (内線 35-442)

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8447

FAX 03-5253-1603

(河川防災ステーション整備計画について)

国土交通省水管理・国土保全局治水課

課長補佐 牛腸 宏 (内線 35-516)

代表 03-5253-8111

直通 03-5253-8454

FAX 03-5253-1604

H26年度 [第2回]地域と連携した川づくりに係る計画

〇かわまちづくり(登録)

事業区分	都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
かわまちづくり	ほっかいどう 北海道	てしおくん 天塩郡 てしおちよう 天塩町	てしお かわ 天塩川	てしお かわ 天塩川	てしお 天塩かわまち づくり	国土交通省 天塩町	天塩町では、「第6期天塩町総合振興計画」に基づく「天塩町観光振興ビジョン」において、かわとまちとが一体となった観光振興を通じて新しい地域ブランドを確立し、人と人、地域と地域のふれあいから住んでいる人もいきいきと活力あふれる地域の振興を目指している。 本計画では、国土交通省が高水敷整正、管理用通路等の水辺整備、天塩町が看板やフットパス、階段、活動拠点等の整備を行うことで、地域の観光振興及び活性化を推進する。
かわまちづくり	やまなしけん 山梨県	ふえふきし 笛吹市	ふじかわ 富士川	ふえふきかわ 笛吹川	ふえふきし 笛吹かわま ちづくり	国土交通省 笛吹市	笛吹市では、ふえふき協奏曲第一番（第一次笛吹市総合計画）において、笛吹川などの河川や近津用水などの水路など、笛吹市の豊かな水辺空間を活用することにより、住民・訪れる人が水辺や緑に親しめる回遊性のある緑と潤いのあるまちづくりを推進すると位置づけている。 現在までに、笛吹市では四ツ沢川周辺での「ほたるの里づくり」、藤壘（ふじめた）の滝ミズパシヨウの水辺空間、みさか桃源郷公園「ほたるのせせらぎゾーン・じゃぶじゃぶ池ゾーン」、金川の水を取り入れた「みさか路さくら公園」などの水辺空間整備を行うとともに、環境学習、自然体験活動を行うプロジェクトにより、ピオトーブを整備し、子ども達にとって河川が身近な自然体験の場となるよう取り組みを進めてきている。 本計画では、「笛吹市ミスベリング構想」も踏まえ、国土交通省が笛吹川右岸堤防に親水護岸整備を行うことにより、花火会場拡大による打ち上げ花火の大型化が可能になるとともに、笛吹市が近津用水に川床の整備、石和温泉街にミスベ公園等を整備することにより、水辺レクリエーション軸を形成し、市民の憩いの場として、魅力が高まり、観光人口の増加が期待され、水辺とまちの未来を創造していくための取り組みを産官学で連携しながら、推進するものである。
かわまちづくり	ちばけん 千葉県	なりたし 成田市 さくらし 佐倉市 いんざいし 印西市 しすいまち 酒々井町 さかえまち 栄町	とね かわ 利根川	きたいんばぬま 北印旛沼 にしいんばぬま 西印旛沼 ほか 他	いんばぬま りゅういき 印旛沼流域か わまちづくり	ちばけん 千葉県 なりたし 成田市 さくらし 佐倉市 いんざいし 印西市 しすいまち 酒々井町 さかえまち 栄町	印旛沼沿岸5市町では、総合計画等において、印旛沼及びその周辺の里山の活用を位置づけ、特に佐倉市では、印旛沼周辺地域の活性化推進プランにおいて、印旛沼湖畔の「ふるさと広場」等を中心とした印旛沼周辺地域の活性化を位置付けている。また、東京オリンピック・パラリンピックを控え、成田国際空港に隣接する当該地域では、外国人観光客などインバウンドの増加が期待されている。 本計画では、堤防整備や周辺道路整備等と併せて、千葉県が腹付盛土や坂路、階段、低水護岸等を整備、関連市町が駐車場やトイレ等を整備することで水と地域のネットワークを形成し、併せてイベントの開催、情報発信の強化・充実等を実施することにより、防災性を向上させるとともに、地域活性化を図るものである。
かわまちづくり	とうきょうと 東京都	ちゅうおうく 中央区 たいとうく 台東区 すみだく 墨田区 こうとうく 江東区	あらかわ 荒川	すみだかわ 隅田川	とうきょう かわ 「東京の顔」 すみだかわ 隅田川におけ るかわまちづ くり	とうきょうと 東京都 ちゅうおうく 中央区 たいとうく 台東区 すみだく 墨田区 こうとうく 江東区	隅田川下流域では、まちづくりと一体となったスーパー堤防、水辺を散策等に利用できるテラスが整備され、また東京スカイツリーが建設されたことなどにより、人々の関心が川に集まってきている。 本計画では、隅田川下流域における水辺の動線を強化するため、東京都が、テラス連続橋の整備による連続化、災害の夜間発生に備えた誘導灯（照明）整備等を進め、沿川区が、テラスへつながる街側の動線を強化することで、浸水時における利用者の安全確保、災害時に避難路や物資輸送路として活用することが可能となる。さらに、水辺と街の連続性や回遊性を向上し、地域の活性化を推進する。
かわまちづくり	あいちけん 愛知県	おかぎし 岡崎市	やはぎかわ 矢作川	おとがわ 乙川	おとがわ 乙川リバーフ ロント地区か わまちづくり	岡崎市	乙川リバーフロント地区は、名古屋鉄道本線の東岡崎駅にほど近く、岡崎市の中心市街地を流れる矢作川水系乙川である。この地区では乙川、岡崎公園及び都市空間の景観整備や観光拠点としての可能性を引き出すこと、水辺空間の活用、交通インフラの改善、まちづくり・街のリノベーションの促進が課題となっており、都市空間と水辺空間を一体的に整備し、回遊性を確保し、観光拠点となる賑わいの場を創出するように整備を行う。

かわまちづくり	さが 佐賀県	からつ 唐津市	まつうらがわ 松浦川	まつうらがわ 松浦川	かこうぶ 河口部地区 かわまちづく り	国土交通省 唐津市	唐津市では、「唐津市都市計画マスタープラン」を策定し、将来の都市構造を形成していく上での重要な骨組み「都市骨格」として松浦川を位置づけている。この中で、松浦川沿いの公共施設整備の一環として、一部併用されている河畔遊歩道をはじめ、身近に水辺を感じることでできる“水辺の回廊ゾーン”の整備に、地域住民が主体となった検討を進めながら実現化に取り組みことが盛り込まれている。 本計画では、水辺整備の実施により“水辺の回廊ゾーン”としての利活用が向上し、また、当該地区を「人と川とのふれあいの場」として、地域住民による干潟での環境学習や体験活動等の利活用を促進し、市民と行政との協働によるまちづくりにより、地域の活性化を推進する。
かわまちづくり	くまもと 熊本県	こうさ 甲佐町	みどりかわ 緑川	みどりかわ 緑川	こうさ 甲佐地区 かわまちづく り	国土交通省 甲佐町	緑川の良好な自然環境や古くからの地域住民との関わり合いを活かし、甲佐町の「まちづくり」と緑川の「かわづくり」の一体化を図る。 また、緑川を軸とした地域の活性化、イベント開催の場としての観光誘致、様々な世代が集う水辺拠点として地域交流を促進するとともに、河川空間利用者の安全性の向上、河川巡視・河川管理の円滑化を図ることを目的に、事業を進めていく。
かわまちづくり	ふくおか 福岡県	くろめ 久留米市	ちくごかわ 筑後川	ちくごかわ 筑後川	みや しん 宮ノ陣地区 かわまちづく り	国土交通省 久留米市	地域の河川敷において、スポーツ大会や各種イベントが開催可能な多目的広場、筑後川にふれあう水辺、散策路等を整備することによって、多様な利活用を行い、また、地域の交流拠点としての水辺を創出することにより、人とひとがつながる空間、地域がにぎわう河川空間の創出を推進する計画である。
かわまちづくり	くまもと 熊本県	やつしろ 八代市	くまがわ 球磨川	くまがわ 球磨川	しんはきはらばし 新萩原橋 しゅうへん 周辺地区 かわまちづく り	国土交通省 八代市	新萩原橋周辺地区の球磨川河川緑地は、ウォーキングやジョギング、地元ボート部のレガッタの練習に利用されているほか、春には「九州国際スリーデーマーチ」、夏は「くま川祭り」、秋は「やつしろ全国花火競技大会」と、年間を通じて多くの市民と観光客に利用されている。本事業では、水際へ安全に近づけるようにすることで、カヌーや環境学習等の水面利用ができる場を整備するほか、萩原堤や石はねといった地域の歴史上重要な遺構を、自然と調和し、風格ある河川空間として新たに創出する。また、約400年前に加藤清正により築造されたと言われる「八の字堰」を再現した床固めを遙拝堰の直下に整備し、アユ等の生物に配慮した瀬・淵のある多様な流れの再生を図る。整備された各拠点は、ウォーキングやサイクリングによって周辺の文化財や史跡といった見所との回遊性・連続性を持たせ、街と球磨川のつながりを向上させる。

〇かわまちづくり(変更)

事業区分	都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
かわまちづくり	ちばけん 千葉県	まつし 松戸市	とねがわ 利根川	えど がわ 江戸川	まつとちく 松戸地区かわ まちづくり	国土交通省 松戸市	<p>松戸市では、『都市計画マスタープラン』において、斜面林・河川・農地など本市の代表的な自然環境を有する矢切地区について、既存の豊かな緑と水の広がりを活かしながら、市内外の人々が交流する場として「かわのレクリエーション交流拠点」を整備することとしている。また、松戸駅周辺においては、まちの魅力を高め、活気や賑わいを創出することを目的に「松戸駅周辺まちづくり基本構想」の策定を進めており、その中で、新たな観光資源として、松戸駅周辺と矢切地区を江戸川で結ぶ水陸両用バスを運行させることにより、“にぎわい”と“やすらぎ”を感じる実現させ、地域の活性化を推進することとしている。</p> <p>本計画では、国土交通省が松戸駅周辺と矢切地区の江戸川河川敷に、水陸両用バスの運行のための入出水斜路、及び堤防部の斜路を整備し、松戸市で川のレクリエーション交流拠点として、観光拠点整備を行う。災害時には、この斜路は河川を利用した人的・物資の緊急輸送が可能となり、矢切観光拠点とともに防災機能の役目を果たすことが可能となる。</p> <p>今般、水陸両用バス斜路整備、及び松戸市が整備する矢切観光拠点整備を追加し、それに伴い、計画期間を1年延長した平成30年度までとする。</p>
かわまちづくり	ぐんまけん 群馬県	たかきし 高崎市	とねがわ 利根川	からすがわ 烏川	たかまつとちく 高松地区かわ まちづくり	国土交通省 高崎市	<p>高崎市では、『高崎市緑の基本計画』において、「水と緑のネットワークをつくる」を基本方針とする「烏川・碓氷川のかわの回廊づくり」や「河川を生かした緑の整備」が位置付けられており、左岸の烏川緑地では身近な水辺空間を目的とした散策路や憩いの場、レクリエーション利用の場として整備が行われてきた。</p> <p>本計画では、国土交通省が管理用通路と親水護岸や階段護岸の整備を行うと共に、高崎市が公園と展望レストハウスや緑道等の整備を行い、広い高水敷を活用したスポーツやイベント等のアクティビティの高い右岸と左岸の烏川緑地とを新たに結びつけ河川のスケールに合わせた大きな回遊ルート（環）を設定し、烏川の持つポテンシャルを最大限に活かした水辺利用の推進を図る。</p> <p>今般、整備行程の見直しにより計画期間を平成31年度までとする。</p>
かわまちづくり	いばらぎけん 茨城県	ちくせいし 筑西市	とねがわ 利根川	こかいがわ 小貝川	ちくせいし 筑西市かわま ちづくり	国土交通省 筑西市	<p>筑西市では、『筑西市建設計画』において緑地景観ゾーン、『筑西市総合計画』において緑・文化・交流ゾーンとして位置づけられている。</p> <p>本計画では、国土交通省が緩傾斜法面や散策路等の整備を行うと共に、筑西市において駐車場等の整備が行われてきた。また、当該箇所には、日本ウォーキング協会が認定したイヤラウンドコースも設定されており、ウォーキングや散策に利用されている。</p> <p>今般、整備内容の見直しと共に計画期間を平成26年度までとする。</p>
かわまちづくり	やまなしけん 山梨県	ふじかわ ちよう 富士川町	ふじかわ 富士川	ふじかわ 富士川	ふじかわちよう 富士川町かわ まちづくり	国土交通省 富士川町	<p>富士川町では、『第1次富士川町総合計画』において、魅力を高める地域整備の推進を掲げ「水辺空間活用の推進」を位置づけている。現在、当該地域周辺では道の駅及び河川防災ステーションが供用を開始し、さらに平成29年度供用開始に向けた中部横断道の建設が進み、IC及びPAによる交通や物流に大きな変化が見込まれる。これらの整備により、富士川の良好な水辺空間がより重要性を増すとともに、舟運復活での利用など水辺利用の広がりも期待される。</p> <p>本計画では、国土交通省が管理用通路と親水護岸、富士川堤防の腹付け盛土と階段護岸を実施し、富士川町が陸上競技場や多目的広場等を実施し、新たな交流拠点整備に併せ、町名にも由来した富士川の水辺整備とまちづくりとを一体的に行うことにより、地域活性化及び良好な河川空間形成を図るものである。</p> <p>今般、国土交通省が実施する富士川堤防の腹付け盛土及び階段護岸実施内容の追加に伴う計画変更が生じるが、計画期間は当初計画のとおり平成29年度までとする。</p>
かわまちづくり	ふくおか 福岡県	ふくおか 福岡市	なかがわ 那珂川	なかがわ 那珂川 やくいんしんがわ 薬院新川 はかた がわ 博多川	なかがわ 那珂川 かわまちづく り	福岡県 福岡市	<p>那珂川は、福岡市の中心部を貫流する福岡市を代表する河川の一つであり、番托井堰の下流は、平成21年までに河川改修に併せて遊歩道等の整備がなされるとともに、支川も含め、地域主体の祭りやイベント、憩いの場などに活用されており、多くの市民や観光客に親しまれている。</p> <p>番托井堰上流は、平成21年7月の洪水を受けて実施されている河川改修事業に伴う井堰改築により水位が低下し、平成27年に河川内に新たな敷地が生じる。</p> <p>本計画では、この新たな敷地等を活用して、番托井堰上流に向けて、福岡県が遊歩道等の整備を行い、河川を身近に感じられる空間を創出する。また、あわせて福岡市や市民団体が共働で活動を行うことにより、地域の魅力を高める。</p>

H26年度 [第2回] 地域と連携した川づくりに係る計画

○水辺の楽校(登録)

事業区分	都道府県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
みずべ がっこう 水辺の楽校	とうきょうと 東京都	はちおうじし 八王子市	たまがわ 多摩川	あさかわ 浅川	はちおうじ あさかわ 八王子浅川 みずべ がっこう 水辺の楽校	八王子市	<p>八王子市はその市街中心部を浅川が流れており、中州、瀬や淵が分布し高水敷には自然植生が形成されるなど多様な自然空間が広がっている。また平成18年7月に「子どもの水辺」に登録し、市民団体や教育関係者等からなる協議会により、ウグイの放流や生きもの観察会などの川を活用した体験学習など様々な取り組みが行われている。</p> <p>本プロジェクトでは、国土交通省がアクセス路等の整備を行う事により、より良好な環境学習の場となり、子ども達による河川利用、体験活動を推進する。</p>

H26年度 [第2回] 地域と連携した川づくりに係る計画

○河川防災ステーション(承認)

プロジェクト名称	都県名	市町村名	水系名	河川名	箇所名	事業主体	事業の概要
河川防災ステーション	にいがたけん 新潟県	にいがたし 新潟市	しなのがわ 信濃川	しなのがわ 信濃川下流	あまのちく 天野地区河川防災 ステーション	国土交通省 新潟市	天野河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、信濃川下流部の市街化エリアの災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、新潟市が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な復旧活動の拠点として整備する。また、平常時には、防災学習の場として利用するとともに、地域の交流・憩いの場としての活用が可能となる。
河川防災ステーション	きょうとふ 京都府	ふくちやまし 福知山市	ゆらがわ 由良川	ゆらがわ 由良川	とだちく 戸田地区河川防災 ステーション	国土交通省 福知山市	戸田地区河川防災ステーションは、洪水被害を最小限に食い止めるため、由良川中流部の災害時の緊急復旧活動を行う上で必要な緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等のほか、福知山市が設置する水防センターを配置し、迅速かつ円滑な復旧活動の拠点として整備する。また、平常時には、防災学習の場として利用するとともに、地域の交流・憩いの場としての活用が可能となる。

かわまちづくり支援制度

～良好なまち空間と水辺空間の形成～

観光などの活性化に繋がる景観・歴史・文化等の河川が有する地域の魅力という「資源」や地域の創意としての「知恵」を活かし、地方公共団体や地元住民との連携の下で立案された、実現性の高い河川や水辺の整備・利活用計画による、良好なまちと水辺が融合した空間形成の円滑な推進を図ります。

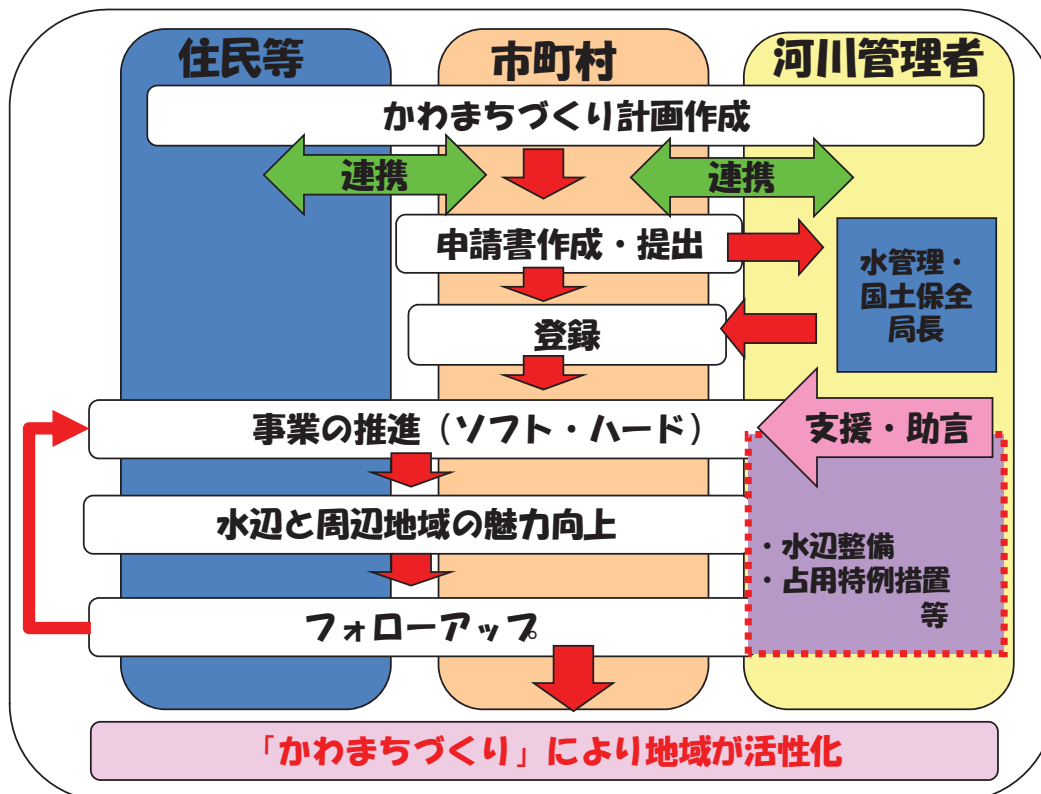
○事業概要

ソフト支援：民間事業者による河川敷のイベント広場やオープンカフェ等への利用制度（都市及び地域の再生等のために利用する施設に係る占用の特例）等を活用、河川管理者として「地域づくりのためのフォローアップ」を積極的に支援。

ハード支援：治水上及び河川利用上の安全・安心に係る河川管理施設の整備を通じ、まちづくりと一体となった水辺整備を支援。



管理用道路をフットパスとして活用（最上川）



図：かわまちづくりの流れ

水辺の楽校プロジェクト

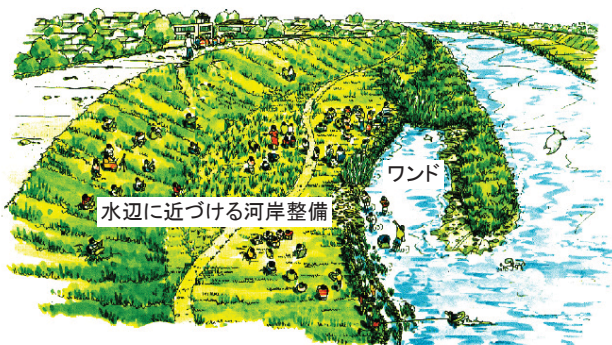
～地域一体となった子どもたちの自然体験の場づくり～

河川を活用した環境学習・自然体験活動について

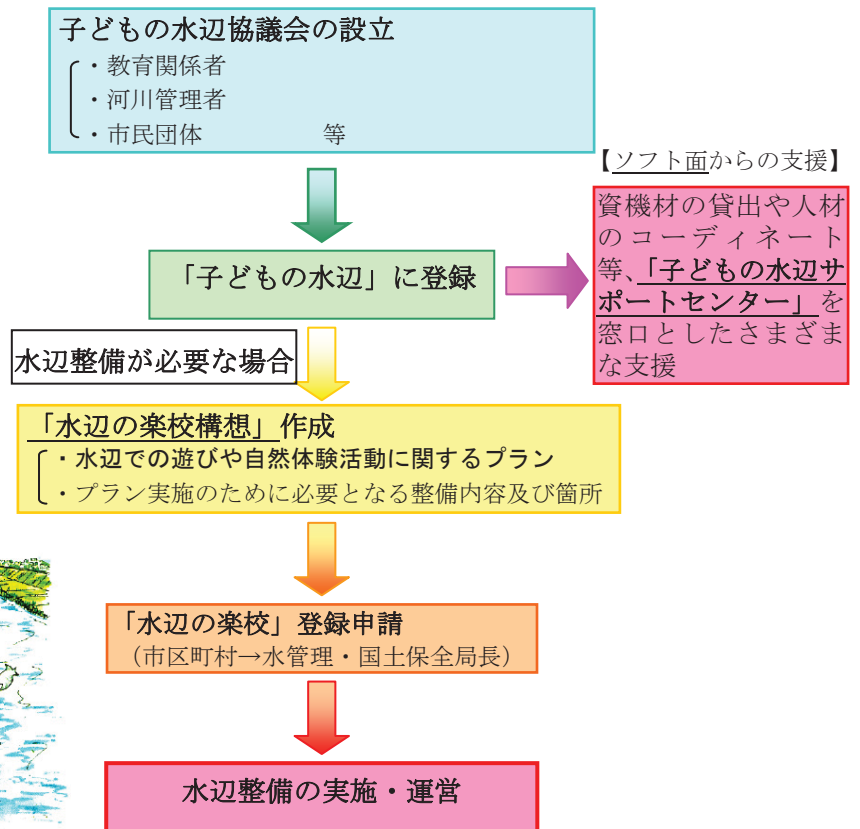
- ・人間と環境の関わりについての理解を深め、豊かな人間性を育てていくために、環境学習や自然体験活動を積み重ねることは重要です。
- ・地域に身近に存在し、自然が残されている川は、貴重な環境学習や自然体験活動の場となっています。
- ・小中学校において「総合的な学習の時間」が本格的に実施されるとともに、完全学校週5日制が開始されるなど、自然体験活動等の場として、川への注目が集まっています。

『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』と『水辺の楽校プロジェクト』

- ・市民団体や河川管理者、教育関係者などが一体となって、地域の身近な水辺（「子どもの水辺」）における環境学習や自然体験活動を推進するため、国土交通省、文部科学省、環境省の3省が連携して、『「子どもの水辺」再発見プロジェクト』に取り組んでいます。
- ・「子どもの水辺サポートセンター」において、「子どもの水辺」の登録受付を行うとともに、登録された水辺におけるソフト面（ライフジャケットなどの資機材の貸出、活動をコーディネートできる人材の紹介等）からの支援を行います。
- ・『水辺の楽校プロジェクト』は、安全に水辺に近づくための水辺整備など、「子どもの水辺」において活動を推進するにあたって必要なハード面からの支援を行うものです。



「水辺の楽校」のイメージ図



水辺の楽校のフロー

河川防災ステーション

～地域で守るふれあいのスペース～

「河川防災ステーション」は、水防活動を行う上で必要な土砂などの緊急用資材を事前に備蓄しておくほか、資材の搬出入やヘリコプターの離着陸などに必要な作業面積を確保するものです。洪水時には市町村が行う水防活動を支援し、災害が発生した場合には緊急復旧などを迅速に行う基地となるとともに、平常時には地域の人々のレクリエーションの場として、また河川を中心とした文化活動の拠点として大いに活用される施設です。国土交通省では、今後も地方自治体と連携を図り計画的かつ積極的に整備していきます。

《 「河川防災ステーション」の設置位置 》

設置位置は、次のようなことを考慮して決めます。

- ① 水防倉庫などの関連施設と河川防災ステーションとの役割分担
- ② 重要水防箇所の状況
- ③ 過去に大きな被害を受け、水防活動や緊急復旧の実績のある区間及びその状況
- ④ 想定される水防活動及び緊急復旧活動に関わる輸送路の状況
- ⑤ 集落や市街地に近く、通常時にも一般の利用が活発に行われ、河川を軸とした文化活動の拠点として活用されるとともに、河川事業の展示活動、研修などが展開できる地域

《 新規に整備を要望する市町村は、最寄りの河川事務所等に相談を 》

「河川防災ステーション」を整備する際は、洪水時の水防活動及び緊急復旧活動の拠点として整備されるものであり、設置位置、規模、事業効果、その他必要事項を記入した整備計画を作成し、河川局長の承認を受ける必要があります。

整備計画の申請は河川管理者が行いますが、水防管理者と一体として整備する施設ですので、市町村と調整が図られた計画が設置要望の必須条件となります。よって、新規要望を検討されている市町村につきましては、河川管理者（直轄河川については国土交通省河川事務所等、補助河川については都道府県土木事務所等）と調整した上での要望をお願いいたします。

